

(様式1)

自 己 評 価 票

作成日 平成 22年 4月 10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102647		
法人名	株式会社トゥルーケア		
事業所名	グループホームメロン	ユニット名	2丁目
所在地	〒311-1136 茨城県水戸市平戸町舟渡380-1		
自己評価作成日	平成22年4月15日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ある程度ご自身の事は出来る入居者様に対して手薄になりがちですが、出来るだけ話し掛けるようにしています。声掛けを多くした事で、車イスを使用していた入居者様も手すりにつかまり、ゆっくり歩けるようになりました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所だけで介護をするのではなく、地域の中にある施設として地域の方からも理解を得てお互いに支えあえる施設になるように努めています。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的に交流をする事はありませんが、地域の行事等のお誘いを受けた時には出来るだけ参加し少しでも交流が持てるように努めています。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に参加して下さった方には、認知症の理解などお話をさせて頂いていますが、地域の方に向けては行っていません。
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中で頂いた意見を参考にさせて頂き、より良いサービスが提供出来るように努めています。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃分からない事があった時には、市役所の担当者に電話を掛けたり、市役所に行き話を伺い、協力関係を作っています。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束の勉強会を開催しています。勉強を重ねて行う事で身体ケアによる入居者様の心身にさまざまな影響が生じる事を学んでいます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待についての勉強会を開催しています。事業所内で虐待が行われないよう、職員同士注意しています。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会が無く、突然相談をされると答えられないと思う為、何時相談を受けても答えられるように学びたい。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を行う時は時間を掛けて説明を行うようにしています。契約時以外でも、いつでも質問して下さる様にお話をしている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情の受付機関が市役所の介護保険課にある事を重要事項説明書に記載しており、契約を行う際にお話させて頂いている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	本部職員が職員と話をする時間を設けてくれる為、色々な意見を伝える事が出来ます。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場の環境を良くする為に、本部職員と管理者が話し合いをする機会が定期的にあります。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験年数や立場に合わせて研修に参加する事が出来ます。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	水戸市のグループ協会に加盟し、定期的な研修会等に参加しているが、職員が参加する事は無い為、他の施設の職員と交流する機会が無い。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前調査の際にご本人様よりお話を伺い、出来るだけ不安が無く入居して頂けるように心掛けている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が不安に思われている事を入居を考えている時から話をお聞きして、信頼関係が築けるように努めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の相談を受けた時にグループホームに入居可能かの判断をし、他のサービスが相応しいと考えられる場合は関係機関と連携を図り対応しています。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に日々過ごす中で喜怒哀楽を共に感じ、『職員・入居者様』という関係だけではなく、家族に近い関係になっている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	あまり面会は多くありませんが、ご家族様に来荘した際には、最近の様子をお話しさせて頂いています。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	「懐かしの場所に行きたい。」と訴える入居者様がいますが、ご家族様に聞いても場所が分からない為、その場所に出向く事が出来ません。分かり次第一緒に出掛けたいと思います。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様が孤立せず、入居者同士が関わり合えるように座る位置を配慮しています。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もご家族様から相談を受けた事はありませんが、相談を受けた際には出来る限りの支援が出来るように努めたいと思います。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様の希望に合わせて生活を過ごして頂きたいと思いますが、全介助の入居者様もいる為、職員のペースになってしまう事もあります。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前調査を行う際に生活歴やこれまで利用していた介護サービスも含めて伺っています。状況に応じて、ご家族様からの情報だけではなく、介護サービス事業所の方にお話を伺い情報を頂く事もあります。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様との会話や活動、生活リハビリの中で出来る事。出来なくなった事。分かる事。分からなくなった事。の把握をしている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にカンファレンスを行い、意見交換を行いながらケアプランの見直しをしています。が、ご家族様が参加する事はありません。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の様子を記入する用紙があり、職員間で情報を共有しています。また、申し送りのノートを活用し、細かい情報も共有出来るようにしています。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今までのやり方や、現状にとらわれず、その時々合わせたサービスが提供出来るように心掛けている。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	病院だけではなく、入居者様の状況に合わせた地域資源を把握し、今以上に豊かな生活が送れるように支援したい。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者様・ご家族様の希望に合わせて主治医を選んで頂いています。ご家族様が受診の対応してくださる時には、最近の様子を伝え、また、受診後は医師からの話を聞かせて頂き、指示通りに対応するようにしています。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間の訪問看護ステーションと提携しています。また、週1回の定期訪問がある為、担当者に医療面で不安な事や注意事項など教えて頂き、支援が出来るように努めています。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーを作成し、今までの生活の情報をお伝えしています。また、退院後の生活について入院先に出向き、医療関係者と話し合いを行うようにしています。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期に話し合いは行っていないですが、その時の状況に合わせて事業所として出来る事を提案させて頂き、入居者様やご家族様の支援に取り組んでいます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日常的に急変時の対応を訓練として行っていますが、急変時の対応方法を主治医や訪問看護師より指導をして頂いています。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練を定期的に行っていますが、1回の訓練に全員参加する事が出来ないので、何度も訓練を重ね、全職員が災害発生時に対応出来るようにしたい。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損なわないように注意していますが、耳が遠い方もいる為、時に大きな声になってしまうことがあります。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご自身の意見を伝えられない入居者様に対しての働きかけが難しいと感じる事が多くなりました。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のペースに合わせて過ごしたいと思いますが、介助を要する入居者様もいる為、全入居者様ではありませんが、一部職員のペースになっています。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に散髪をして入居者様が好まれる髪型にして頂いている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様とお話をしながら食事をしています。下膳が出来る方にはお願いしていますが、困難な入居者様もいる為、準備や後片付けは職員が大半行っている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は委託をしています。水分摂取量を測るように主治医より指示が出ている入居者様に関しては、個別に水分摂取表を記入しています。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者様の状態に合わせた口腔ケアを毎食後行っています。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	身体レベルの低下により自立に戻す事は困難と思いますが、一人一人の排泄パターンを把握するように努めている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表を見て排便の有無の確認をしています。薬に頼らず、水分摂取や運動を行い、便秘にならないように心掛けています。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	介助が必要な入居者様が多い為、職員に合わせて対応する事が多くありますが、その中でも入居者様の希望に聞き入れ入浴するようにしています。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間眠れない入居者様に対して、無理に居室に入り休んで頂くのではなく、お話をしたり、一緒に音楽を聞いたりして眠りたい時に居室に誘導して休んで頂いています。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の名前・用法・副作用等を個別に確認し、病気に対しての薬の服用が分かるように各自調べています。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を把握し、入居者様一人一人の楽しみを把握し、気分転換が出来るように支援しています。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外に出掛け気分転換を図る機会を多く設けたいと思いますが、全員の入居者様が行けるような状況では無い為、行けるような場合は外に出掛けるようにしている。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	
			実 施 状 況	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様自身がお金を持ちたい。との希望はありませんが、希望があった時にはご家族様と相談をして希望に副えるように支援していきたい。</p>	
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者様からの希望はありませんが、ご家族様からお電話を頂いた時にはお話が出来るように対応しています。</p>	
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節が分からなくなるような混乱を招く温度にせず、暑すぎず、寒すぎないように調整をしています。また、門松や節分の鬼などを飾る事で季節感を感じられるようにしています。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアの中にソファがあり、仲の良い入居者様同士座ってお話を楽しんでいる光景を目にします。また、居室・フロア内と自由に行き来出来る為、思い思いに過ごされています。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>危険物以外の物であれば特に持ち物の制限はしていない為、使い慣れた物をお持ち頂くようお願いをしています。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下に手すりがある為、車椅子を使用している入居者様も職員の介助に頼らず、ご自身で手すりを使いながら自走も出来るようになっています。</p>	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの ○ 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと ○ 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに ○ 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない